

「LINE スタンプ「みーくんとえっちゃん」の制作について」

足立玲奈 北村瑠捺 三谷莉世（情報科学ゼミ）

1 はじめに

近年ソーシャルメディアの利用率が増加している[1]。三重短期大学においても連絡ツールとして多くの学生及び教職員が SNS を利用している。電話やメールと同様に LINE が幅広く利用されている。2011 年 6 月にリリースされ、現在では多くのダウンロード数を誇る LINE アプリはコミュニケーションツールとして積極的に活用されている。特に LINE 上の会話で使用されるスタンプは自分の感情を伝えたり、伝えやすくしたりするために数多く販売されている。

昨年、三重短期大学での学生・教職員のコミュニケーションをアシストすることを目的に、三重短期大学の情報科学ゼミでは三重短期大学の LINE スタンプを制作・販売したが、スタンプの個数が少なかったり、学生や教職員が日常的に LINE で使用する種類のスタンプが少なかったりなど、いくつか問題点があった。

そこで本プロジェクトでは、大学生や教職員が普段使う言葉の種類を調査し、集計結果からニーズに沿った使いやすい LINE スタンプを作成することを目的とする。

2 LINEスタンプの配布方法

LINE スタンプを配布するのには 2 つの方法がある。まず 1 つ目は「LINE 公式アカウント」を作成し無料で配布する方法、2 つ目は LINE CREATORS MARKET でクリエイターズスタンプとして有料で販売する方法である。これらの方法の特徴を下の表にまとめた。

表 1 LINE スタンプの販売方法

配布方法	LINE 公式アカウントを取得して配布する方法	クリエイターズスタンプとして配布する方法
制作者費用	2 8 0 0 万円以上	無料
ユーザー費用	無料	有料（1 2 0 円～6 0 0 円）
分配金	なし	売上の 3 0 % 程度
対象	大企業	中小企業、自治体、個人

表からわかるように、LINE 公式アカウントで配布する方法は、制作者が LINE に対して多額の費用を払う必要があり、一部の大企業が宣伝・広告目的で利用することが多い。

一方クリエイターズスタンプで配布する方法は、制作者が公開するための費用がかからないため中小企業、地方公共団体、及び、教育組織など数多くの組織で利用されている。

本プロジェクトでは、制作者側の費用負担がない。クリエイターズスタンプで配布する方法

を選択した。

3 制作の概要

制作期間は、2017 年 10 月～2018 年 1 月までの 3 ヶ月間である。はじめの 2 ヶ月間でアンケートの実施・集計を行い、スタンプのデザイン及びキャラクター案を出し合い、イラスト案を制作した。その後、制作したイラスト案をデザイン研究会に依頼しデジタル化、色付け、修正などを行った。そして申請という流れである。

4 スタンプ制作

4.1 デザイン・キャラクターの検討

キャラクターには大学生・教職員に特化したものを作成するため、それらをイメージした男女の大学生・教職員のデザインとした。アンケート結果よりキャラクターの表情などのデザインを検討した。（みーくん、えっちゃん、女性教職員、男性教職員）

4.2 スタンプの画像の 40 個の検討

LINE スタンプを販売するには、1 セット最大 40 個のスタンプ画像を制作して申請することができる。LINE スタンプを製作するにあたり、どのようなものを製作したらよいかを、次の二つの方法で検討することにした。

●普段 LINE でどのような言葉を多く使用するかを、三重短期大学の学生と教職員にアンケートをとり、参考にする。

●大学生が使用したいと思う LINE スタンプを検討する。

スタンプによっては申請が許可されない場合があるので 40 個以上制作をし、申請できる最大数 40 個を選び申請をした。

4.2.1 アンケート調査の概要

LINE スタンプを制作するにあたって現在の大学生や教職員がどのような言葉をよく利用しているのかを調査した。調査は、他のゼミの生徒教職員や、学生部の方々 1 年生の生徒などを含めた計 241 人に実施した。内容は普段 LINE でよく使う言葉は何か、5 文字以内で最低でも 3 個、最高で 5 個答えてもらうものである。調査において難しかったことは、おおまかに分類分けするうえで分類分けに困るものが多く存在したことや言葉だけではどういった意味を持つものか判断が難しく、どういう意味を持つ言葉なのかを推測する必要があり、判断に迷うものが多く存在したことである。

4.2.2 アンケート調査の集計

アンケートの集計方法については下記に記したとおりに行っていった。

1. 全く同じ言葉をまとめていく

（暴力的な言葉や字数が 5 文字以上になっているものは除外する。）

2. 同じ意味を持つ言葉はまとめていく

（例「おはよう」「おはよー」など）

3. 「挨拶」、「謝罪」、「返事」などさらに大きな分類に分けていく
(分類分けできなかったものに関してはその他に分類する)

このような流れで集計結果を紙に書き出し集計した。教職員のアンケート結果を集計したものを図1に示す。また、その他に分類されたのは、「連絡ください」、「待ってます」、「気をつけて」、「情けな〜」、「嫌な予感…」、「みんな〜」、「どこがいい」などである。

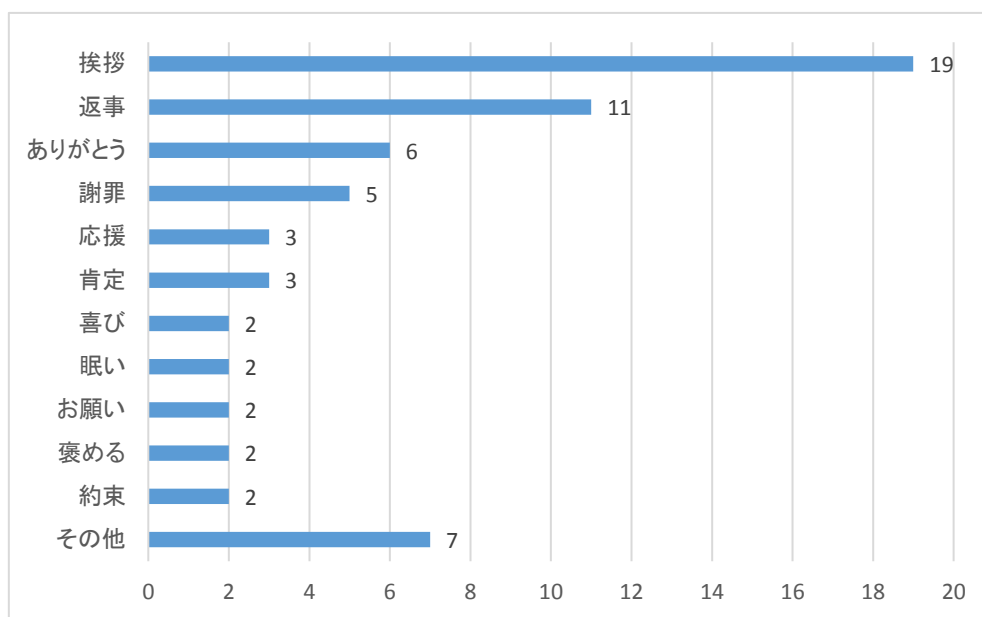


図1 教職員集計結果

学生のアンケート結果を集計したものを図2に示す。また、その他に分類されたのは、「行くわ」（2票）、「推し」、「あーめん」、「はあ…」、「うーん…」、「お金ない」、「おかし」、「でんわしよ」、「講義なう」、「こぶしで」、「終わらへん」、「どんまい」、「だから！！」、「やせたい」、「あかんやつ」、「連絡です」、「席とっとく」、「お大事に」、「あはは…」、「あいたい」、「出た」、「わああああ」、「てかさ」、「ひどい話や」、「しゃーなし（2票）」、「満腹です」、「歩きなう」、「まじ可愛い」、「迎えよろ」、「許さん」、「おごって〜」、「注目！」、「失礼します」、「まってるよ」、「尊い」（2票）、「寂しい」など。

4.2.3 大学生が利用しやすいLINE スタンプ

三重短期大学の学生や他の大学の大学生が利用したいと思うような LINE スタンプにするために大学生が利用しやすいようなもの大学生に特化した LINE スタンプを制作した。大学生に特化した LINE スタンプとしては以下のものを作成する候補とした。

- 「寝坊した」、「課題提出?」、「お腹すいた」

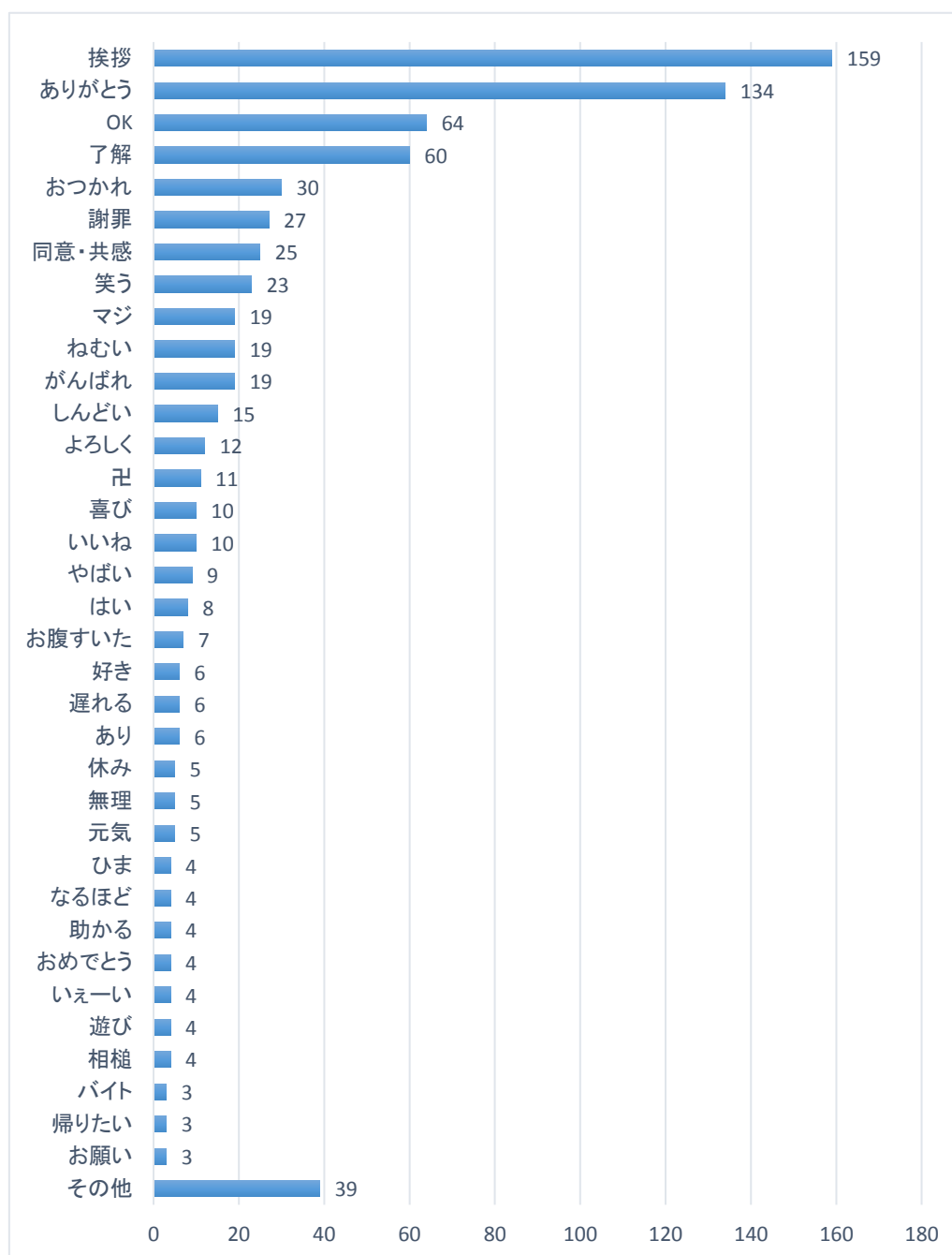


図2 学生のアンケート結果

4.3 LINE スタンプの作成

LINE スタンプの制作は、原案イラストの作成、原案のデジタル化、色付けを実施した。制作の詳細は以下で述べる。

最初に、イラスト原案を出し合い検討した。鉛筆で描いたイラスト原案をペンでなぞり、色鉛筆で色付けを行った。デジタル化したときにイラストの境界線が途切れることを避けるため、ペンでなぞる線は太めで、線のつながり目などに隙間ができないように気を付けた。

実施した学内アンケートの結果から、デザインやイラストに添える言葉の選出を行った。言葉をもとにキャラクターの表情や雰囲気を決定し制作した。

イラストのデジタル化はデザイン研究会に依頼した。依頼した内容は、作成したイラストをデジタルデータとして取り込むことと、原案に近い色付けを実施してもらい、文字入れも行ってもらった。デザイン研究会の作業は、Adobe Photoshop[2]というソフトを使用し、約3日程度で完成した。

4.4 LINE スタンプの申請

著作権の問題やゼミの研究としてふさわしくないデザインがないかなど、ゼミ内で調整し、学生部への提出も行った。もし申請したスタンプの中で許可を得られないものが出た場合のために最終調査性の段階で申請最大数の40個を用意した。LINE スタンプの申請の流れは、下記のとおりである。

- ①LINE アカウントの作成
- ②LINE Creators Market のアカウントの登録
- ③スタンプの詳細情報（タイトル、説明文等）の入力
- ④スタンプ画像のアップロード
- ⑤販売価格の設定と登録

1回目の申請ではイラストの背景が透明になっている事、一部のイラストの内部が透過されていることを理由に申請を却下されてしまった。LINE からの指示に従い、イラストの透過をデザイン研究会の方に修正してもらった。イラストのデザインには問題がなかったのでイラストは予定通りのもので再度申請を行った。

2回目の申請では、イラストのサイズの問題で申請を却下されてしまった。LINE からの指示に従い、イラストのサイズを修正してもらい再度申請を行った。1月21日に「LINE からスタンプの申請が完了し、承認されました。」と返信があった。

4.5 販売と宣伝

販売は2018年2月1日から開始する予定である。販売の概要を表2に示す。

表2 LINE スタンプの販売概要

販売期間	2018年2月1日～3月31日
値段	120円（50コイン）
スタンプ個数	40個
分配金の利用方法	事務管理局が管理し、ゼミ活動で利用

多くの人たちに利用してもらうために、下記の方法で宣伝を実施した。

- 三重短期大学のホームページで宣伝
- 居住環境コース卒業研究発表会で発表
- 三重短期大学の SNS（Twitter, Facebook など）で宣伝

5 まとめ

本原稿では、情報科学ゼミによる大学生及び教職員向けの LINE スタンプ制作について報告した。LINE スタンプの制作方針としてはソーシャルメディアに対する意識向上、大学生及び教職員のコミュニケーションでの活用に重点を置いた。LINE スタンプのキャラクターには男女の大学生・教職員を採用し、合計 40 個のスタンプを作成した。2018 年 2 月 1 日から販売開始予定で、制作方針の実現に向けて努力する予定である。最後に、本プロジェクトを進めるにあたり、イラストのデジタル化・色付けにご協力いただいた三重短期大学デザイン研究会に深く感謝申し上げる。

参考文献

- [1] 総務省「情報通信白書」の「ソーシャルメディアの普及」
<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h28/html/nc132220.html>
- [2] Adobe Photoshop : <https://www.adobe.com/jp/products/photoshop.html>
- [3] LINE スタンプへのリンク : <https://store.line.me/stickershop/product/1913326>

付録（作成した LINE スタンプ一覧）



